

えひめアビリンピック 2026

ネイル施術競技課題

1. 競技内容

作品は、課題1と2の2種類する。

(1) 課題1 : 『ネイルケアとカラーリング』

前 半 :【ネイルケア】(両手) 爪の長さや形を整え、表面滑らかにし甘皮の処理を行います。ネイルサービスの基本となる美しい爪と指先を保つためのネイルケアの仕上がりと技術テクニックを競います。

後 半 :【カラーリング】(両手) (右手 : ネイルポリッシュ / 左手 : ジェルカラーリング) 2種類のカラーリングを施します。カラーリングの基礎であるネイルポリッシュとサロンサービスの主流であるジェルネイルカラーリングで、材料に合わせた技術テクニックと施術の正確さ、トータルの仕上りの美しさで競います。

○右手 (5本) : ポリッシュ (赤)

○左手 (5本) : ジェル (オリエンテーション時に配布)

(2) 課題2 : 『ネイルチップアート』

テーマ : 海「輝きが生まれる場所」

テーマに合わせたネイルデザインをネイルチップに施します。ネイルデザインの基本的なテクニックを用いて、独創的で華やかなネイルアートを時間内に制作します。

2. 競技時間

(1) 課題1 : 70分

前 半 :【ネイルケア】 30分

手指消毒からスタートし、両手のファイリング、キューティクルケアを行う。

爪の表面は、後半のカラーリング内容に応じた準備として、それぞれバッフィング(右手)とサンディング(左手)までを行う。

後 半 :【カラーリング】 40分

モデルの両手にそれぞれ2種類のカラーリング(ポリッシュとジェル)を行う。

(2) 課題2 : 30分 ネイルチップ2本

- ・作品は、ポリッシュまたはジェルを使用し作成する。アート部分は、ポリッシュ、ジェル、アクリル絵の具などのネイルの材料を使用し、5本のうち完成品3本を事前に用意し、2本を時間内仕上げる。
- ・1枚のチップの仕上がりにテーマにあったアートデザインを50%以上施す。
- ・爪につけられるアート作品であること。(爪に装着可能な作品であること。)
- ・立体的なパーツをその場で作成し爪に装着する事は可とする。
- ・市販のネイルシールや既にデザインされた装飾品、パーツ類の使用は不可。ただし、ネイルアートを効果的に表現する目的で使用するストーン、ホログラム、ラメ、ミラーパウダーなどのネイル商材は使用可とする。

3. 提出方法

課題1: 参加者からの申し出及び競技時間終了の合図で競技終了とし、モデルへの施術をもって提出とする。

課題2: 作品は、終了後競技会場側で用意したチップケースに入れた状態で提出とする。

4. 注意事項

- (1) 使用機材に不具合が発生した場合は、スタッフに報告し指示に従うこと。
 - (2) 作品が完成したらスタッフに申し出ること。
 - (3) 会場での座席位置は、予めスタッフが決定する。
 - (4) メモ、デッサン画、参考書その他の資料等の持込みは一切不可とする。
- (注1) 補助具等(書見台等)の導入が必要な場合は、事前に事務局に申し出ること。それらは原則として、参加者自身が持参し、事前にスタッフの立ち会いのもとで導入すること。ただし、導入に関して不具合があっても特別な配慮は行わない。

5. 競技会場に準備してあるもの

No.	機材名称	仕 様
1	作業台	W1800×D450×H700 (内高 640)程度
2	選手用電気スタンド	クランプ式蛍光灯: 100V 40W
3	電源コンセント(各 2 口)	ジェルネイルランプ用・電気スタンド用
4	完成作品保管・展示用長机	W1800x450x700 程度
5	長机用テーブルクロス	白色、ビニール製
6	椅子	背もたれ付
7	ごみ袋(小)	45L
8	エタノール	消毒用エタノール
9	ポリッシュリムーバー	ポリッシュリムーバー
10	チップケース	ネイルアートで使用
11	ネイルチップシール (両面テープ)	
12	ポリッシュカラー (マット赤)	
13	ジェルカラー	
14	選手作業テーブル用のごみ袋	A4 サイズのごみ袋選手人数分用意
15	水	お湯の温度調整用
16	お湯	ウォーターケア用

6. 競技者持参品リスト(競技者が持参するもの)

No.	機材名称	仕 様
1	手指消毒液	手指消毒液（メーカーや形状は問わない）
2	コットン	ネイルコットン（メーカーや形状は問わない）
3	コットン容器	コットンワイブケース
4	ウェットステリライザー	消毒用タンブラーなど
5	メンダ(容器)	メンダポンプ（必要に応じて）
6	ネイルチップ	指定のものを使用（入手方法は別途指示あり）
7	チップスタンド	
8	ベースコート(ポリッシュ)	ベースコート（メーカーや形状は問わない）
9	トップコート(ポリッシュ)	トップコート（メーカーや形状は問わない）
10	ベースジェル(ジェル)	ジェルベースコート（メーカーや形状は問わない）
11	トップジェル (ジェル)	ジェルトップコート（メーカーや形状は問わない）
12	ジェル用筆	ジェル筆（ジェルカラーがコンテナタイプのため必要）
13	ジェルネイル用ランプ	LED カラージェルに対応した 36 W クラスのランプが望ましい（メーカーや形状は問わない）
14	爪用消毒剤	ジェルネイル塗布前に爪用消毒で使用
15	ワイブ類	使用するジェルのタイプに応じ用意
16	スパチュラ	カラージェル攪拌用（必要に応じて使用）
17	メタルプッシャー	ネイルケア時に使用（メーカーや形状は問わない）
18	キューティクルリムーバー	ネイルケア時に使用（メーカーや形状は問わない）
19	キューティクルニッパー（必要な場合）	
20	ネイルファイル	エメリーボード（爪の状態にあったグリットを使用）
21	ウッドスティック	
22	シャイナー	爪にツヤをあたえる（必要に応じて使用）
23	バッファー(220G 前後)	ポリッシュを塗布する爪の準備に使用
24	スポンジファイル(100/180G)	ジェルを塗布する爪の準備（サンディング時）に使用
25	ガーゼ	ネイルケア用（メーカーや形状は問わない）
26	ダストブラシ	ダストを払うブラシ
27	トレー	ケース(用具を入れるため)
28	ブラシ立て	ジェル筆、ファイルスタンド
29	フィンガーボール	ウォーターケア時に使用
30	ペーパータオル	（メーカーや形状は問わない）
31	アームレスト	（メーカーや形状は問わない）
32	作業エリア用タオル	白無地タオル

※上記に記載のないもので、施術に必要と思われる物があればご準備ください。

競技で使用する道具・材料の一式を会場にご持参ください。

※大会当日、ジェルネイルで使用するカラーの配布及び、ネイルアートの競技方法および提出方法などの説明を致します。

※競技にふさわしくない、著しく有利になるとと思われる道具の使用を認めない場合があります。

選手が準備・持参するものについて

- ◎施術するモデルは各自で手配をお願いします。
- ◎課題 1 の前半と後半で使用する道具は、普段使用しているものを各自持参して下さい。
 - ・ネイルケアのネイルポリッシュ、ジェルネイル、ネイルアートなど施術で使用する道具は、各自に必要な道具一式をお持ちください。
 - ・後半のカラーリングでは、ネイルポリッシュとジェルのベース・トップ及びそれらの施術に必要な材料と道具をお持ちください。
 - ・競技者持参リストに記載がない材料などで必要な物は、各自で必要に応じてご用意ください。
- ◎課題 1 課題 2 で使用する機材一式は、普段使用しているものを持参してください。
 - ・使用機器のメーカー等は問いません。
 - ・ネイルチップケース、ネイルチップを貼る両面シールは主催者側で用意します。

ネイルケア&カラーリングのモデルの爪の状態について

- ◎モデルの爪や皮膚に疾患や炎症などがなく、ネイルケアやカラーリングができる爪と皮膚の状態であること。
- ◎ネイルカラーなどが何もついていない、ナチュラルネイルの状態であること。
- ◎亀裂等の処理はネイルグルーのみ使用可。(本数は問わない)
 - ・ネイルグルー以外の素材でリペアが確認された場合には、減点の対象となります。
- ◎何も塗布していない状態から始める。(ネイルグルーを除く)
- ◎爪の長さは、手の平側から見て 1mm 以上 5mm 程度までの爪の状態の方。
- ◎形を整えられる長さがあり甘皮の手入れができる状態であること。
 - ・競技日の 1 週間前からはモデルの方にファイリング及びキューティクルケア(甘皮周りのお手入れ)をしないこと。あきらかにお手入れをしている状態を判断した場合は、減点の対象となります。

7. テーブルセッティングに関して

- ◎競技開始前までに、全ての準備を終了すること。
 - ・競技開始後に、作業で使用する道具、材料をカバンから取り出した場合は減点とする。
- ◎ジェルネイルランプの電源を競技前に確認すること。
 - ・ジェルネイルランプの不具合がないかの確認、使用ジェルの硬化時間などは各自で管理してください。万が一ジェルネイルランプの不具合で競技に支障が出た場合でも配慮は致しません。
- ◎使用する器具、材料はトレーの中にセッティングし作業中も衛生的に管理すること。
 - ・ウエットステリライザーをセッティングすること。(ニッパー、プッシャーをセッティング)
 - ・ジェルネイルランプは衛生的なものを使用すること。
 - ・ジェルネイルランプの設置場所は作業テーブル内であれば自由、各自で管理すること。

課題 1 (ネイルケアとカラーリング)

■競技時間

70 分 (前半 : ネイルケア 30 分・《審査 10 分》・ 後半:カラーリング 40 分)

■競技内容 施術者とモデルの手指消毒後、ネイルケアからカラーリングまでを施す。

【競技手順】

前半 : ネイルケア (30 分)

- ①施術はウォーターケア(お湯を利用した)を行うこと。(ドライケアは不可)
- ②消毒液を含ませたコットンを用いて施術者の手指、次にモデルの手指を消毒する (擦式清拭消毒)
 - ・施術者、モデルそれぞれに別のコットンを使用する。
 - ・手の甲、手の平、指間までしっかり行う。
- ③エメリーボードを用いてフリーエッジの長さや形を整える。
 - ・ファイリングは、力を入れず一方方向に行う。
 - ・形はラウンド、オーバル、スクエアオフのいずれかの形で整える。
 - ・10 本の長さ、形は揃える。
- ④ダストブラシを用いて、ダストを取り除く。
- ⑤キューティクルリムーバーを塗布し、フィンガーボールに入れる。
- ⑥メタルプッシャーを用いてキューティクルをプッシュアップする。
 - ・メタルプッシャーの形状に合わせた角度で、安全に使用すること。(キューティクルリムーバーや水を使用しながら行うこと。爪を傷つけないようにする)
- ⑦ガーゼとキューティクルニッパーを用いてルーススキン、ささくれを除去する。
 - ・キューティクルニッパーで爪や皮膚を傷つけないようにすること。
- ⑧後半のカラーリングに合わせた爪の状態にする。
 - ・右手 : ポリッシュでの施術が施せる状態(バッファーを使用し爪の凹凸を滑らかにする)
 - ・左手 : ジェルネイルの施術が施せる状態(適切なファイルのグリットでサンディングを施す)

※サンディング不要のジェルを使用した場合でも、競技上のルールとして、モデルの爪に適切なサンディングを行うこと。

※使用するバッファーのグリットは 爪の状態に合わせた物を使用し、爪の状態によっては複数面使用可能。
- ⑨爪の表面、爪の裏面のダストをキレイに取り除く。
- ⑩使用した器具や材料を全て片付け、カラーリングが施せる準備をする。

(注意) ケア終了後、キューティクルオイルやクリーム等の塗布行為があった場合には減点

■チェックポイント

- ・衛生的に施術を行っている。
 - ・器具、材料は必要なものが準備され、常に整理整頓された状態であり安全に正しく使用している。
 - ・フリーエッジの削りあとが滑らかで、削り残しやダストが残っていない状態である
(フリーエッジ裏も含む)。
 - ・ルーススキン、ささくれや甘皮の処理がきれいに適切にされていること。
(切りすぎ、取り残しはないか)
 - ・10本のフリーエッジの長さや形がバランス良く揃っていること。
 - ・後半のカラーリングに合わせ爪の準備が適切にされていること。
- 作業手順は問わないが、作業工程を全て時間内に終了すること。
- ・危険行為や出血などがある場合は減点とする。
 - ・ネイルケア前の状態とネイルケア後の状態に変化があり、ネイルケアの仕上がりが美しく整った状態であること

審査(10分)

後半：カラーリング(40分)

- ①カラーリングはネイルポリッシュ(マット赤)とジェルカラーを使用すること。
 - 右手(5本): ポリッシュ(マット赤)
 - 左手(5本): ジェル(オリエンテーション時に配布)
 - ・施術の順序は問わないが、それぞれの製品の特徴をふまえた施術を行うこと。
 - ・カラーはいずれも2度塗りとする。
- ②爪の表面、フリーエッジの裏の油分、水分の除去をする。
カラーリングの施術内容に応じた製品を使用し、爪のクリーンを行なうこと。
- ③ベースを爪の表面とエッジ(爪の先端)に塗布する。
- ④1度目のカラーを塗布する(爪の表面とエッジ)
- ⑤2度目のカラーを塗布する(爪の表面とエッジ)
- ⑥トップを爪の表面とエッジに塗布する。
- ⑦ジェルネイルは未硬化ジェルのベタつきがない状態にする。
 - ・ジェルネイル施術において、カラーリング終了後にファイル類を使用することは不可とする。
(ネイルファイルを使用し爪やジェルを整えた場合には減点とする)
 - ・仕上り後、キューティクルオイルの塗布は不可とする。
 - ・未硬化ジェルが出ないタイプのジェル製品を使用した場合でも、最後は必ずふき取りを行うこと。

■チェックポイント

- ・衛生的に施術を行っていること。
- ・エッジの塗り残しがないこと。
- ・先端の厚みが均一であること。
- ・爪裏に製品が流れていないこと。
- ・キューティクルラインが空き過ぎず滑らかであること。
- ・サイドの塗り残しがないこと。
- ・表面に色むらや刷毛あと、ダスト、凹凸、液だまりなどがいないこと。
- ・素材に合ったツヤがあること。
- ・皮膚にカラーやジェル製品がついていないこと。
- ・時間内にトップコート・トップジェルまで塗られていること。
- ・ジェルは未硬化ジェルがない状態であること。
- ・カラーリング終了後、ネイルファイルを使用しないこと。

■注意事項

- ・競技開始時にモデルの事前審査を行う為、事前審査中にモデルの手や爪に触らないこと
- ・モデルに出血が生じた場合は放置せず、近くにいる競技委員の指示に従うこと。
- ・器具、材料を落とした場合は放置せず、拾い、破棄する。破棄できないものは消毒液で消毒してからセッティング、使用すること。競技中、落とした物を拾った場合は、自分の手指を消毒してから競技を再開すること。
- ・時間内にすべての作業が終了されていない場合は減点となる。
- ・審査中、モデルの爪や手に触れないこと。
- ・ジェルネイルはカラーリング（トップジェル硬化後）終了後、はみ出したジェルをネイルファイルで削らないこと。（ネイルファイルで削り整えた場合には、減点となる。）

課題2(ネイルチップアート)

ネイルアートの基本的なテクニックを用いて、テーマにあった作品をネイルチップに施す。

■テーマ

海～輝きが生まれる場所～

■競技時間 30 分

■競技内容

①ネイルチップ（2本）にアートを施す。（3本は完成品を事前用意）

※ネイルチップは、指定のものを使用（入手方法は別途指示あり）

※チップケースにチップを装着するシール（両面テープ）はクリアタイプ

※見本（メモ、デッサン画、事前に作成したチップ等）を見ながらの作業は不可とします。

※競技会場側で用意したチップケースにチップを装着した状態で作品の提出とします。

※競技方法や作品の提出方法などは、当日にお伝え致します。

■注意事項

- ・衛生的に作業を行うこと。
- ・使用するチップの加工（形を整えるなど）は、競技時間内に行う。
- ・チップのファイリングスタイルは自由。
- ・ネイルアートはポリッシュ、ジェル、アクリル絵の具を使用する。形状や使用するメーカーは問わない。
- ・課題のテーマに沿ってアートを施す。
- ・ネイルアートの装飾品は効果的に使用することは可（ラメ・ラインストーン・スタッズ・ミラーパウダー・ホイルなど）
- ・市販されているネイルシールや既にデザインされた装飾品やパーツ類の使用は不可。
- ・著作権など他者の権利を侵害していないこと。
- ・5本全体で1つのテーマを表現するものとし、5本それぞれのデザインが異なるものであってもかまわない。

■チェックポイント

- ・一枚のチップの仕上がりにアートデザインが50%以上施してあること。
 - ・爪につけられるアート作品（1枚単体で装着可能な作品）
 - ・立体的なパーツをその場で作成し爪に装着する事は可
 - ・効果的にストーン、ホログラム、ラメなどの使用は可
- ※ただし、デザインが出来上がったパーツ及びネイルシールなどの既成の製品の使用は不可

- ・必要に応じ、最後にトップコートでのコーティングを行うこと。
- ・時間内に終了しているか。
- ・テーマに合ったデザインか。
- ・オリジナル作品でありデザイン性が優れているか。
- ・デザインテクニックに優れているか。(色彩バランスとテクニック、ペイントテクニック)
- ・全体のバランスは適切であるか。
- ・ネイルアートに必要な材料や道具の管理と使用方法を理解し衛生的に作業がされているか。